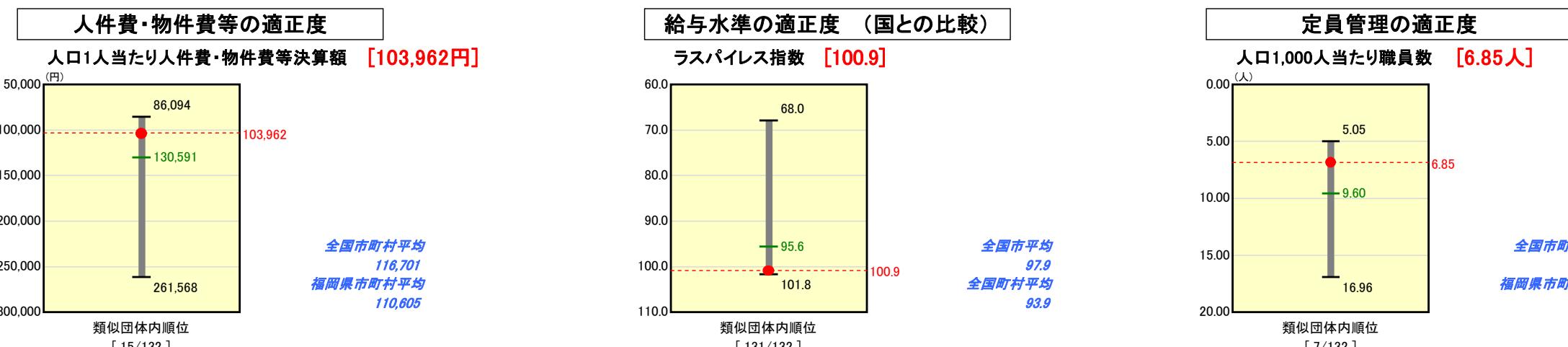
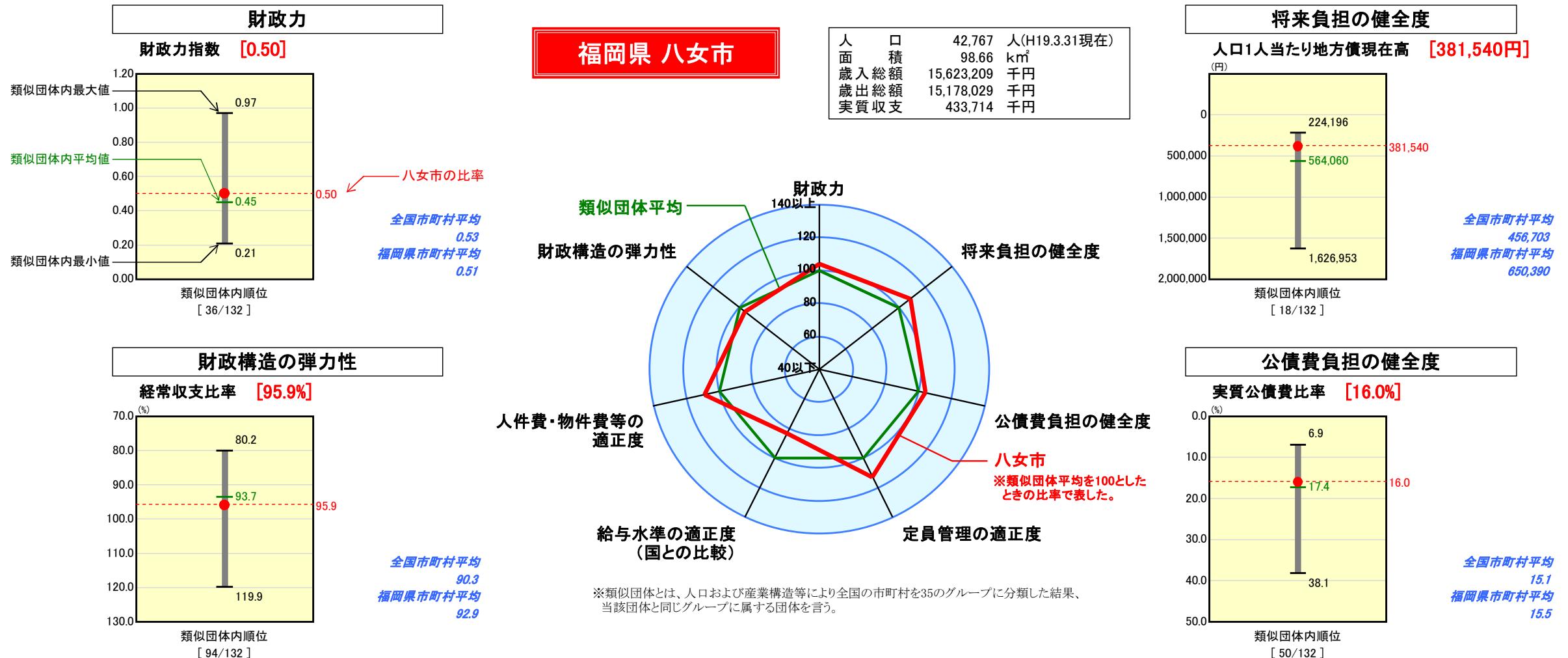


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし
人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数

平成18年10月1日に上陽町と合併し、前年度より0.05ポイント下がった。高齢化率の伸びに加え、基幹産業である農業・中小商工業において、後継者育成が課題となっている。今後は、合併に伴う事務事業の整理及び税収の徴収率向上を図り、財政の健全化を図る。

○経常収支比率

前年度(旧八女市分)より2.6ポイント上昇した。これは、合併に伴い、旧上陽町の生活保護関連経費が県から市へ移管されたことによるもの。このため、財政健全化策として、補助金の全面見直しや合併後の事務事業の見直しを早急に実施し、財政基盤の安定化を図るために一層強化した行財政改革の推進を図る。

○ラスパイレス指数

類似団体平均よりも5.3ポイント上回っており、今後は給与体系の見直しを図り、より一層の給与の適正化に努める。

○実質公債費比率

類似団体より下回っているが、今後とも、緊密度・住民のニーズを的確に把握した事業の選択により、引き続き水準を抑えるよう努める。

○人口1,000人当たり職員数

類似団体平均値より下回っている要因としては、平成13年度以降、新規採用職員の抑制及び退職者職員不補充の継続推進を図ったことによる。合併後の適切な定員管理に努め、5年間で6.4%の削減目標とする。